

個別地域ケア会議報告書

資料 2

開催日	令和 7年 2月 27日
包括支援センター名	地域包括支援センター熊川
議題	「もの盗られ妄想がある高齢者の支援について」
現況及び問題点	《現況》 女性 80歳代 娘2人と同居 一人は在宅ワークしている ・R3年12月、本人から「物を盗られた」と福生警察署に連絡があったが話の内容が支離滅裂だったと熊川包括に連絡がある ・その後も福生警察署に本人から「物を盗られた」と通報がある ・夫が存命中は夫が物を盗ったとターゲットにされており、包括が訪問しても「家族の問題だから」と訪問を拒否していた ・夫の死後、隣家がターゲットになっている 《問題点》 ・物忘れ症状が悪化しているが、本人が症状を自覚していない ・家族が受診には付き添うが、協力的ではない
個別ケア会議での 会議要旨	○このケースにどう関わっていったらいいか ・まずは医療につなげたいケース ・精神的に淋しさから症状が悪化したか ・この事例は本人は全く困っていない
参加者	民生委員、病院相談員、福生市役所社会福祉課、障害福祉課、地域包括支援センター加美、生活支援コーディネーター
その後の経過	
見えてきた地域課題	・（物とられ、被害）妄想は周囲の理解と関りが必要。包括との関係性を保ちつつ、新しいコミュニティを紹介する ・見守りの継続

地域課題 A

個別地域ケア会議報告書

開催日	令和 7年 3月 26日
包括支援センター名	地域包括支援センター熊川
議題	医療と福祉の連携について
現況及び問題点	《現況》 ・女性 80歳代 長男と同居 ・80歳以上の見守りステーションの訪問で職員が訪問時、長男の発語、受け答えに違和感を感じ、包括に連絡し関わるようになった ・通院ができない状態だと長男が代理受診をし、かかりつけ病院の相談員が長男に本人の状況を聞くと、歩けなくなっている。紙パンツの取り替え方がわからず、何日も変えていないと聞き、病院相談員より状況を確認して欲しいと包括に連絡がくる ・長男に病院相談員より介護申請を勧め、市役所で申請する 《問題点》 ・自宅内はゴミであふれている ・賃貸契約は本人名義なので、今後も在宅での介護を希望している ・長男は理解力がなく生活する能力に欠けている ・介護保険の認定調査が入っており、早期に状況が把握できたのではないか
個別ケア会議での会議要旨	・60歳代の子供が働かず、80歳代の親の名義で部屋を借りるケースが増えている。親のお金をあてにしている子供が増えている ・紙おむつが干してある家がある。おむつの使い方がわからない人もいる。「困ったときは包括へ」と頭の片隅において貰うといい。 ・入院期間がはっきりしていれば、包括ケア病棟も利用可能（今回は家の片付けをする間と期間がわかっていたため受け入れができた） ・今回は支援がスムーズに行えた。息子は介護の仕方がわからないなりに一生懸命介護していた
参加者	URコミュニティ生活アドバイザー、病院相談員、生活支援コーディネーター
その後の経過	居宅介護支援事業所と契約し、訪問医療、訪問介護、福祉用具レンタルを受け、穏やかに過ごしている
見えてきた地域課題	・介護保険制度を使いこなせない人がいるなか、認定を受けた方がスムーズにサービスを受けることができたか、関係者間のネットワークづくり、アフターフォローが必要 ・「困った時は包括へ」を周知するために自治会便りに載せる

地域課題 B

個別地域ケア会議報告書

開催日	令和 7年 2月 25日
包括支援センター名	地域包括支援センター加美
議題	「他市から移動された方に不利益とならないよう支援を行うためのシステムの確認」
現況及び問題点	《現況》 女性 80歳代 独居 ・1月5日に旧住所から介護者である姪がいる福生市に転入したが、旧住所の福祉事務所から2月初めに生活保護の移管予定のため、それまでは福生市でサービスは利用できないといわれた ・姪から包括に介護保険サービスについて相談があり介入した 《問題点》 ・自宅での入浴が困難なため、入浴ができなくなってしまった ・転居先で慣れない環境もあり、福祉用具が早急に必要になった ・どこにつなげるのか判断しなくてはならない
個別ケア会議での会議要旨	・旧住所から福生市に転入する前に福生市に相談があったかが疑問もともと、福祉サービスが入っていた方であれば、早急に調整が必要である ・このようなケースは例がない。転居の場合サービスはつなげて使えることが多いが、サービスが切れると難しい ・福祉用具はデモで利用、入浴は自負利用を提案するしかない ・障害手帳があれば、同行サービスを利用し、ヘルパーが同行し入浴できるようにするサービスがある（区分があればの話になる） ・移管については切れ目のないようにすると思う。移管の日にちが決まっていなかったことで、お互いがサービスを利用しなくてよければ、利用しないように、ということになってしまったのでは？ ・家族も混乱してしまう。行政と協力し切れ目のない支援を進めていく必要がある ・支援方法について悩むより、悩んでいる最中に地域ケア会議、個別会議を検討したらよいのではないか
参加者	障害福祉課、社会福祉課、訪問看護ステーション、地域包括支援センター熊川・武蔵野、生活支援コーディネーター
その後の経過	医療：訪問医療、訪問看護、訪問薬剤 介護：デイサービス（入浴）、ヘルパー（掃除）、福祉用具貸与（トイレ、手すり、屋外歩行器）のサービスが入った
見えてきた地域課題	なし

個別地域ケア会議報告書

開催日	令和 7年 3月 28日
包括支援センター名	地域包括支援センター加美
議題	「介護サービスで補えないサービスをインフォーマルサービスでどのように支援するか（訪問介護）」
現況及び問題点	《現況》 ・女性 70歳代 独居 ・R2 左肩鍵盤断裂手術入院中に病院より介護保険申請の依頼があり、新規申請し、要支援2 ・術後より、左腕全体に痛みや痺れがある ・脊柱管狭窄症の既往から、腰痛、臀部から下肢の痛みや痺れの症状がある 《問題点》 ・エレベーターなしの2階に住んでいるため外出が困難 ・介護サービスが週1回しか利用できない ・介護保険以外のサービスでどのように支援するか
個別ケア会議での会議要旨	・自費サービス（民間）のヘルパー利用 ・ネットサービス ・要支援2でもヘルパーは週1回しか利用できない ・ヘルパー不足が課題となっている ・ヘルパーが不足し、週1回しか利用できない方は買い物は買い物代行サービスを利用 ・ボランティアでの個人宅に伺って行う訪問介護以外のサービスはない ・加入しているサークルや団体の支援
参加者	福生市シルバー人材センター、ふっさボランティア市民活動センター、福生市介護福祉課、地域包括支援センター加美
その後の経過	他市に転出している
見えてきた地域課題	・介護保険や高齢者の支援の制度について本人、家族に知ってもらうことも必要。家族の協力を得ながら、支援につなげられるようにしていく。そのために連携できる関係者をふやしてネットワークを作っていく必要がある ・掃除以外であれば通所できるサービスの利用や誰でも食堂、こども食堂、通いの場の周知

地域課題 C

個別地域ケア会議報告書

開催日	令和 7年 2月 20日
包括支援センター名	地域包括支援センター武蔵野
議題	精神疾患(妄想癖)があると思われる利用者への対応
現況及び問題点	《現況》 女性 80歳代 独居 要支援2 ・本人からヘルパー支援の希望があり、地域包括支援センター武蔵野と関わることになった。介入するヘルパー事業所には、被害妄想のある方だと事前に説明し了承のもとサービス開始となった。 週2回各1名で対応していたが、「一人のヘルパーが私のお金や宝石を盗んだ」と訴えが始まり、一人のヘルパーへの依存からか電話を頻回にかけたため、事業所より今後のサービスは困難であると 《問題点》 ・近隣の人(大家も含む)と金銭トラブルになっている ・知人、友人に対し信頼が強くなると、お金や物品を渡すこともある ・自分の家には泥棒がやってくる、知らない人が押し入る ・近くに家族がいない(海外に住む長男の嫁しかいない) ・知人、友人とのトラブルが多い ・ヘルパーを入れて物を盗まれると思うと本人も辛い。ヘルパーを入れることが本人にとっていいことなのか悩む
個別ケア会議での会議要旨	・精神科にかかっているのか→かかっていない ・病院の受診はできているか→できている ・高血圧で通院している、かかりつけ医がいるのが強み。医師を活用して医学的な知見で原因を突き止めることが必要 ・かかっている内科の医師がどこまでご存知なのか。事務の方、外来看護師などに話が聞けるといい。いきなり精神科を受診するより知っている医師から薬を出してもらうといい ・一緒に受診する際に、認知症の検査をしてもらうといい
参加者	障害福祉課、成年後見センター、病院相談員、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、地域包括支援センター熊川、加美、生活支援コーディネーター
その後の経過	
見えてきた地域課題	・(物とられ、被害)妄想は周囲の理解と関わりが必要。包括との関係性を保ちつつ、新しいコミュニティを紹介する ・見守りの継続

地域課題 Aと同じ

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第1回 令和7年6月18日
包括支援センター名		包括支援センター熊川
本人の望む暮らし/ 本人の思い		以前 出来ていたグラウンドゴルフに参加できるようになりたい
現況及び問題点		グラウンドゴルフを行う場所が遠い
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	シルバーカーで移動されており、活動制限があるが、意欲がある。身体機能を上げるためには週1回は運動をしたほうが良いと思う。脊柱管狭窄症は動かないと悪化する。夫が運転できるのであれば、グランドまで乗せて行ってもらおうと良い。
	薬剤師	塗薬の痛み止めで、痛みが取れることはない。痛み止めの緩和を聞きたい。どれくらい痛みが治まっているか。どれくらい動いてよいのか医師に確認すると良い。コレステロールの薬を飲めていない理由があると思う。確認できると良い。
	歯科衛生士	かかりつけ歯科は、あったほうが良い。ケースの項目に体重の変動がわかると良い。誤嚥していると痰が増える。噛み合わせが大事。噛み合わせが悪いと力が出ない。カラオケも口腔機能向上に良いので、行くと良い。
	管理栄養士	体重の変化があるか、確かめる必要がある。ハ王子では、元気な高齢者がほっとサービスの輸送版のように輸送するサービスがある。福生市にもあったら良いと思う。ゴルフゲームができるデイの利用。栄養は蛋白質を意識すると良い。
	成年後見センター	夫が運転できるのであれば、グランドゴルフを行っている場所まで乗せていってもらおうと良い。夫の意欲にもつながる。福生にも移送サービスがあったが、車の老朽化と運転ボランティアさんの不足により、廃止となっている。
	生活支援コーディネーター	地区の公民館のサークルで、書道やカラオケを行っているので、参考にしてください。9月からは、徒歩圏内で月1回体操を行うので、お声をかけてみてください。
その後の経過		徒歩圏内の体操に月一回参加するようになった
見えてきた地域課題		移送サービスのボランティアがあると良い。グランドゴルフを行う人が少なくなった。サークル活動の充実。

地域課題 C

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第1回 令和7年6月18日
包括支援センター名		包括支援センター加美
本人の望む暮らし/ 本人の思い		夫が入院し、これから一人で生活するのは大変だと思うので、施設入所も考えている。(ケアハウスなど)
現況及び問題点		ケアマネジャーは、本人が歩行器、杖をレンタルしたが、マンション内で使用しており、「何も興味がない」と言っているので、外に出て楽しみを見つけてほしいと考えている。
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	意欲の減退がみられている。社会性を持てるようにする。判断をご主人に任せていたため、自分で判断できるようにすることが必要。外を歩けないことについて評価がないので専門的に評価が必要。フレイル状態。本人が好きなことを活動につなげられるようにすることもリハビリの仕事としてある。訪リハを勧めてみてはどうか。
	薬剤師	意欲の減退で興味が下がってきている。将来ガタガタッと悪くなりやすい状態。やりたいことにあげたものをできるようにしていくのもよい。活動量の低下から骨密度も減少する。外反母趾は、何か処置したかを確認。
	歯科衛生士	社会のつながりを持つ必要がある。手芸などの趣味があったようだが、声掛けで始められるとよい。体重減にも注意。定期的に口腔ケアを行うことで体調維持ができ、気持ちの低下
	管理栄養士	BMIはあるが、低栄養リスクがある。外に出ることで骨も強くなる。外に出られる力を専門家に評価してもらうのがよい。高齢者は体重変化がなくても問題なしとは言えない。若い時の体重の見方とは違うので注意。すでにフレイルに入っているかも。
	成年後見センター	親族、夫や義妹も高齢なので、自分で判断できるようにすることが必要。必要なら地域権利擁護事業や後見も視野に入れる。
	生活支援コーディネーター	ペットは訪問トリマーもあるようなので活動につながるかも。
その後の経過		
見えてきた地域課題		なし

(自立支援型)個別地域ケア会議報告書

開催日		第1回 令和7年6月18日
包括支援センター名		包括支援センター武蔵野
本人の望む暮らし/ 本人の思い		知り合い、担当していたヘルパー、医療関係（介護で関わったところ）にお金を盗られた。また家の周りに不審者がいる。お金が戻ってきて治安も良く、安心した生活を過ごしたい。
現況及び問題点		金銭トラブルが本当にあったのか不透明ではあるが、自分ばかりが不幸な生活をしていると思い込み不摂生な生活。精神的なストレスも高いため、どのような生活なら本人は安心して過ごせるか。また、支援者とのトラブルにより、介護サービス等も停止した。
個別ケア会議での 会議要旨	理学療法士	ケース内容としては、ダーツのサークルや基地の買い物に行っているのですが、身体面では問題はないと思いますが、精神面が強いのでその辺りでの関わりが必要に感じる。
	薬剤師	薬の服用にもムラがあることを確認し、定時薬の中に糖尿病の薬があること、胃酸の分泌を抑える薬が処方されているため、現在、食事があまり摂れていないことから薬の見直しが必要。改めて、現症状で処方した薬を服用したほうが良いことを確認した。
	歯科衛生士	かかりつけ歯科がないこと、食事が摂れていないことを確認し、1回は歯科受診をし、義歯のかみ合わせも確認して頂く必要がある。かみ合わせが悪くなっていることも原因で食事が摂れていない可能性も高い。
	管理栄養士	数か月の間に食事が摂れなくなっていると確認し、アルブミンの低下、低栄養が気になります。顔つきがやつれたと聞いているので、上義歯のみでかみ合わせが悪化していることも考えられる。
	成年後見センター	ケースを確認していると、精神疾患があるような感じがみられる。医療機関に受診できればいいが、難しいケースに感じる。介入した人に対して金銭トラブル等に発展しないかも心配になる。
	生活支援コーディネーター	
その後の経過		
見えてきた地域課題		医師の指示通りに服薬ができない高齢者への対応 知人はいるが、核となる支援者がいない

地域課題 D